



京都市の令和6年度

予算を徹底審議!

(第一次編成)※

3月市会 予算特別委員会
総括質疑 3月18日(月)

令和6年度予算(第一次編成)は、昨年度に続き収支均衡予算となりました。
いのちとくらしを守る防災・減災対策や市民生活と観光の調和に向けた観
光課題への対策などに重点を置いて編成された、全会計総額約1兆8,247
億円の予算について徹底的に議論しました。

※ 2月25日に松井新市長が就任したため、円
滑な市政運営となるよう義務的な事業や継
続事業、年度当初から実行が必要な新規・
充実事業が令和6年度予算(第一次編成)
として計上されました。
今後、市長公約に盛り込まれた政策的な事
業は、「第二次編成」予算案として5月市
会に提案される予定です。

予算特別委員会総括質疑とは?

予算特別委員会は、予算を審査するために設
置しています。局別質疑で事業を担当する局
ごとに詳細な質疑を行い、その総仕上げとし
て、総括質疑で市長や副市長らと一問一答
で質疑を行いました。



議論の様子をぜひ動画で
ご覧ください!



みちはた 弘之 予算特別委員長 伏見区(自民)

全議員67名で構成する予算特別委員会の総括質疑では、次
の23名が令和6年度予算(第一次編成)について市長等と活
発な議論を行いました。その一部をご紹介します。

全議員の議論の
様子はこちらから



- 質疑順に掲載しています。
- 各委員の最初の質疑の概要を
掲載しています。
- 二次元コードから各議員の質疑動画が
視聴できます。



寺田 一博 上京区(自民)

厳しい本市の財政状況や若年層の
流出等の課題を解消するために、
市長の経歴や人脈をいかした海外
企業の誘致が重要である。



こうち 大輔 右京区(維新)

市長は、二元代表制のもと、対等
なパートナーとして、議会との協
調を図ることを強調されている
が、その真意と協調の考えを問う。



加藤 あい 左京区(共産)

市長の選挙母体が開催した政治資
金パーティーは、法令に則って適
切に対応されたとの認識だが、道
義的・政治的責任はないのか。



吉田 孝雄 伏見区(公明)

市政運営とその具体的なビジョン
について、国や府にどのように政
策を提案して予算を獲得し、タイ
ムテーブルを設定するのか。



しまもと 京司 南区(自民)

公契約基本条例では、市の工事等
は市内中小企業への発注に努める
ことになっており、評価するが、
今後どのように進めていくのか。



土方 莉紗 南区(維新)

本市は「子育て環境日本一」を掲げ
て、子育て施策に取り組んできた
が、現在の子育て環境について、
市長の率直な思いを問う。





やまね 智史 伏見区 (共産)

京都駅新橋上駅舎・自由通路整備事業は、極めて公共性が高いとのことだが、本質は、大企業の儲けのために税金を投じることだ。



松田 けい子 山科区 (公明)

小金塚地域のボランティアバスは無償運送から自家用有償旅客運送への移行が合意されたが、運行への影響と支援の充実内容を伺う。



富 きくお 山科区 (自民)

本市の学校施設の多くは老朽化が著しく、今後、長寿命化改修の対象施設が加速的に増えていくと思われるが、市長の認識は。



河村 諒 左京区 (維京国)

人口戦略のための局横断組織「人口減少対策推進タスクフォース」の、今後の運用方針、具体的目標、職員への浸透度を伺う。



玉本 なるみ 北区 (共産)

少ない年金に物価高騰で高齢者の暮らしが最も厳しくなったこの時に、敬老乗車証の負担金を上げたのは大問題。元に戻すのが当然。



さくらい 泰広 左京区 (自民)

市税収入の増により、第一次編成予算は対前年度比199億円増。第二次編成で更に規模が大きくなる予算を提示した考えを伺う。



小島 信太郎 山科区 (維京国)

交通局は、なりふり構わない経営改善のため、増収増益に注力し、徹底的に選択と集中をしなければならぬと考えるが、いかがか。



湯浅 光彦 右京区 (公明)

交通局の予算は赤字予算となっており、あまりにも消極的だ。1日5万人の増客を目指したかつての熱量を感じるができない。



山田 こうじ 右京区 (共産)

市民生活を守るためにも、「今後も市バス運賃の値上げはやめる」と市長の口からしっかりと明言していただきたい。



山本 しゅうじ 山科区 (自民)

厳しい状況にある伝統産業事業者を守り、更なる振興を図るために、より一層きめ細かな事業者に寄り添った施策の充実を求める。



大津 裕太 中京区 (維京国)

府市協調について、現場でしっかりとコミュニケーションが取れる体制を作っていくことが重要で改善点であると思うが、いかがか。



津田 大三 中京区 (自民)

松井市長のカラーを見せる意味で、今回の予算は大変重要。一番気になるのが、今後のコストカットの方針だが、いかがお考えか。



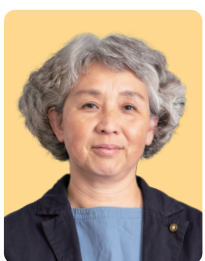
久保田 正紀 伏見区 (維京国)

担い手不足が喫緊の課題である中、「新しい公共」実現のため、従来の形にこだわらないコミュニティの維持を求めるが、いかがか。



天方 ひろゆき 西京区 (民主)

新設の観光特急バスは2系統で導入。市バスは9両増車される。黒字の12路線を走るバスの混雑対策が趣旨と考えてよいのか。



井崎 敦子 左京区 (無所属)

これまでの企業助成による効果の総括はされているのか。また、助成金の審査について、情報公開や、市民参加が必要と考える。



片桐 直哉 北区 (無所属)

「新しい公共」を機能させるには、移住者や若者の価値観も取り入れて、新しい地域の形を作っていくことが大事である。



平田 圭 伏見区 (無所属)

本市がシリコンバレーのようなまちを目指すならば、大学のまち京都としての産学連携、産官学連携に更に力を入れて取り組むべき。



京都市会からのお知らせ

※日程は変更になる場合があります

5月市会の開催予定

5月31日(金)~6月20日(木)

代表質疑

6月4日(火)

予算特別委員会総括質疑

6月12日(水)

